

**CONTENTS**

- 活動報告・各種会議議事録
- 第41回通常総会
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 補助金制度のご案内
- 平成29・30年度日本農薬学会役員選挙について

**平成27年度第4回常任評議員会議事録**

日 時：平成27年12月5日（土）13:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長，副会長，常任評議員計15名（欠席1名）

議 事：

I. 平成27年度第3回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

**1. 財務関係**

- ・平成27年度収支の現状（1月1日から12月1日まで）について報告があった。
- ・故栗原名誉会員のご遺族からの寄付金受入について報告があった。
- ・平成28年度予算について検討した。

**2. 編集委員会**

- ・JPS第41巻1号と、農薬誌41巻1号の発行予定について報告があった。
- ・平成27年度の投稿審査状況について報告があった。
- ・投稿細則の改正について承認された。
- ・学会誌を充実させるための案について説明があった。

**3. 環境委員会**

- ・平成27年度の活動状況（残留農薬分析セミナー，講師派遣，農薬理解促進WG等）について報告があった。
- ・農薬の理解促進のためのウェブサイト作成費用の増額（メール審議で11月19日に承認済み）について

確認した。

**4. 将来計画委員会**

- ・学会誌への投稿促進に関する意見交換会（秋田市）について報告があった。

**5. ホームページ委員会**

- ・学会ホームページの刷新作業がほぼ完了したとの報告があった。

**6. 学会賞受賞者選考委員会**

- ・平第2回選考委員会（10月5日開催）において平成28年度日本農薬学会賞の候補者が選考され，評議員により承認済みであることが報告された。
- ・日本農学賞の推薦に関して報告があった。
- ・農学進歩賞に関する報告があった。

**7. 植物保護科学連合**

- ・5学会が共催した学術会議シンポジウム（11月14日）の報告があった。

**8. 三学会および日植防協会関係**

- ・平成27年10月27日に行われた三学会と日植防との打合せにおいて以下が協議された旨報告があった。
- ・日植防協会と三学会事務との打合せ：①平成27年度の日植防協会への事務管理費（人件費および事務費）補てん金について ②事務職員の退職，新規採用について ③マイナンバー制度について
- ・平成27年10月27日に行われた三学会会長懇談会で議事内容として以下が報告された。①平成28年度日本農学賞について ②日本学術会議および日本植物保護科学連合について ③各学会の運営状況 ④事務局経費について ⑤電子投稿システムの運営状況について ⑥法人化について ⑦事務打合せでの協議内容の確認。
- ・三学会の大会開催予定。  
日本農薬学会 平成28年3月17～19日（島根大学）  
日本植物病理学会 平成28年3月21～23日（岡山大学）  
日本応用動物昆虫学会 平成28年3月26～29日（大阪府立大学）

**9. 農学会関連**

- ・平成28年1月22日に日本農学会評議員会が開催予

定である旨報告があった。

10. 技術士育成推進委員会
  - ・第41回大会で技術士試験対策セミナーを3月19日に開催予定である旨報告があった。
11. 研究会等の協賛について
  - ・平成28年3月2日(木)に東京大学「伊藤謝恩ホール」で開催予定の第8回環境保全型農業シンポジウムを協賛することを承認した。
12. 会計処理について
  - ・平成28年からのマイナンバー制度への学会の対応について協議した。
13. 農業科学研究奨励金について
  - ・平成28年度農業科学研究奨励金の公募は11月30日に締め切り、審査を開始する旨報告があった。
14. 40周年記念事業について
  - ・40周年記念事業費の収支経過について報告があった。
  - ・電子アーカイブ化に関する著作権委譲の説明があった。
15. 第41回大会関係
  - ・尾添実行委員長から大会の準備状況について説明があった。
  - ・託児所の開設に関する検討をした。
  - ・大会前日の評議員会、編集委員会、常任評議員会の会場・スケジュールについて検討した。
  - ・ランチョンセミナーとして編集委員長との懇談会を企画・提案した。
16. 入退会の報告(平成27年9月1日～平成27年11月30日)
  - ・入退会が承認された。入会は正会員11名、学生8名、海外学生会員1名。退会は正会員6名、学生1名。
17. その他
  - ・学会の広報用パンフレットの作成が検討された。

### 平成27年度第5回常任評議員会議事録

日 時：平成28年2月6日(土) 13:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長、副会長、常任評議員、第41回大会組織委員長 計14名(欠席2名)

議 事：

- I. 平成27年度第4回常任評議員会議事録について確認した。
- II. 経過報告および議事
  1. 財務関係
    - ・平成27年度収支について報告があり、収支計算書の内容を確認した。
    - ・平成28年度予算が提示され、その内容を検討した。
  2. 編集委員会
    - ・農業誌41巻1号の掲載予定について報告があった。
    - ・平成27年度の投稿審査状況について報告があった。

・シンポジアの掲載について検討した。

3. 環境委員会
  - ・平成27年度の活動状況について報告があった。
  - ・平成28年度の活動計画について説明があった。
  - ・農業理解促進WGに関しての報告があった。
  - ・第41回大会においてシンポジウム「農業を良く知ってもらうための情報伝達」が開催予定であるとの報告があった。
4. 将来計画委員会
  - ・学会誌への投稿を促進するために、41回大会時にランチョンセミナーを開催する報告があった。
5. ホームページ委員会
  - ・学会ホームページの刷新作業が完了したとの報告があった。
6. 植物保護科学連合
  - ・学術会議シンポジウムの講演要旨集を冊子として出版予定との報告があった。
  - ・平成28年度もシンポジウムを開催する旨の報告があった。
7. 農学会関連
  - ・日本農学会の平成27年度第3回運営委員会(12月11日)および平成28年度第1回評議員会(1月22日)の報告があった。当学会が推薦した安藤哲氏の日本農学会受賞が決定した旨の報告があった。
8. 学術小集会関係
  - ・平成27年度活動報告・収支報告について説明があり、平成28年度活動補助金申請について承認された。
  - ・農業デザイン研究会は日本薬学会構造活性相関部会との共催で平成28年11月16日(水)～17日(木)に第31回農業デザイン研究会と第44回構造活性相関シンポジウムを合同で開催することが承認された。
9. 次期役員について
  - ・次期役員選出のための選挙管理委員会について検討した。
10. 40周年記念事業について
  - ・40周年記念事業費の収支経過について報告があった。
  - ・電子アーカイブ化に関する著作権利用許諾等の手続きの予定について確認した。
11. 第41回大会関係
  - ・大会の準備状況について報告があった。
  - ・第41回大会の評議員会・総会等のスケジュール・内容・会場・招待者等について確認した。
  - ・第41回大会の総会資料を検討した。
12. 第42回大会関係
  - ・第42回大会は愛媛大学にて2017年3月6日(月)～8日(水)の日程で開催される予定である旨の説明があった。

13. 入退会の報告（平成27年12月1日～平成28年1月31日）
    - ・入会が承認された。入会は正会員19名、学生18名、海外学生会員1名。退会は詳細を確認することが検討された。
  14. 終身会員の推薦
    - ・終身会員として5名を評議員会に推薦することを承認した。
  15. その他
    - ・日本農薬学会表彰規程の改定について検討し、メール審議（平成28年2月18日～23日）において改訂を承認した。
- II. 平成28年度農薬科学研究奨励金交付者選考二次審査
- ・平成28年度農薬科学研究奨励金（平成27年11月30日応募締切）への5件の申請に対する一次審査結果について報告があった。
  - ・常任評議員会にて二次審査を実施し、2件に交付を行うことを決定した。

### 第195回常任編集委員会 議事要旨

日 時：平成28年1月22日（土）～（メール会議）

議 事：

- 1) 書評の掲載  
書評の掲載について提案があり、メール審議の結果、掲載することを決定した。
- 2) 談話室の再開  
コラムの執筆について編集委員長に相談があり、談話室を復活させて掲載することが提案され、メール審議の結果、掲載を決定した。書評と談話室については、今後も常任編集委員会やお知らせメールで推薦して貰い、積極的に掲載することとした。
- 3) 読み物企画、技術情報の審査、英文校正について  
内容は第42回編集委員会の議事要旨を参照。

### 第42回編集委員会議事録

日 時：平成27年3月16日（水）14:45～16:15

会 場：くにびきメッセ島根県立産業交流会館401会議室

出席者：30名

議 事：

- (1) 平成27年の掲載状況、投稿審査状況
  - 1) 40巻の掲載状況を確認した。（総会資料参照）
  - 2) 2015年はJPSに78編の投稿があり、国内からが34編、国外からが44編（中国、インド、パキスタン、サウジアラビアを含む13か国）であった。その内訳は、総説（5編）、報文（59編）、短報（8編）、速報（5編）、技術資料（1編）で、このうち掲載可が20

編、審査中が2編である。また、農薬誌には3編（報文2編、技術資料1編）の投稿があり、報文1編、技術資料1編を掲載した。（2016.3.11現在）

- (2) 論文pdfへのアクセス状況  
インターネットによる論文pdfへのアクセス数は月平均6,892件で、昨年より3割増であった。
- (3) 論文賞の推薦  
21人の編集委員から7論文の推薦があった。
- (4) 出版までのプロセスの変更  
受理が決定した論文は、常任編集委員のメール審議による掲載承認、題目審査、要旨確認を行い、その結果を英文校正とレファレンスチェックの結果とともに著者に送り、完全原稿を作成してもらうことにした。
- (5) 投稿細則の改正  
和文要旨への所属機関名の追加および表のファイル形式はExcelまたはWordとしWordの場合はソフトウェアの作表機能で作成するとの改定が承認された。
- (6) 学会誌の充実  
実験技術講座「質量分析法の最新技術」の掲載予定、受賞論文を和文英文ともに論文形式にすること、書評の掲載、談話室の復活、海外渡航支援の報告の掲載が報告された。
- (7) 投稿を呼びかける企画  
「編集委員長と話そう 日頃の研究成果を発信するために」（2015年12月秋田）および「編集委員長と話そう！初めての論文投稿で気を付けるべきポイントは？」（第41回大会、ランチョンセミナー）の報告と案内があった。
- (8) 英文校正について  
英文校正の必要性和校正の程度について議論した。
- (9) 技術資料の審査について  
技術情報として投稿される論文の状況に鑑み、投稿規定の「技術資料は、既知の方法による実験並びに調査の結果または統計などをまとめたものとする」ことを確認し、追加の実験や再実験に関してはディスカッションに考察を加えることで掲載を認める方向性を確認した。
- (10) 報文から短報への変更  
基本的には一旦Rejectして、再投稿してもらうことを確認した。
- (11) EndNoteのアウトプットスタイル  
ユサコ（株）にファイルの作成を依頼し、学会ホームページからダウンロード可能にした。

### 第42回評議員会議事録

日 時：平成28年3月16日（水）16:30～17:30

場 所：くにびきメッセ501大会議室

出席者：米山会長、三芳副会長、清水副会長、與語副会長、

内田監事，寺岡監事，評議員40名，委任状49通（合計89名）

出席者が定足数に達していることを確認したのちに会則第29条に則り米山会長を議長として議事を進行した。

議 事：

1. 平成27年度会務報告
  - ・第41回通常総会資料および第42回評議員会資料に基づき，総務・編集・渉外・学会賞選考および40周年記念事業の各項目について委員長または担当常任評議員が報告を行い，質疑を受けたのち，異議なく承認された。
2. 平成27年度会計報告
  - ・第41回通常総会資料に基づき，収支決算について担当常任評議員が報告を行ったのち，寺岡監事から収支決算の内容が的確であったとの会計監査結果が報告された。以上の報告について質疑を受けたのち，承認された。
3. 平成28年度事業計画
  - ・事業計画案および収支予算案について担当常任評議員が説明を行い，質疑を受けたのち，原案の通り承認された。
4. 終身会員の推薦について
  - ・終身会員として千野義彦氏，小林裕子氏，桑原保正氏，宮田 正氏，竹内安智氏が推薦され，承認された。
5. 規定の改定
  - ・日本農薬学会表彰規定の改定について米山会長より説明され，原案通り承認された。
6. 第42回大会について
  - ・第42回大会を平成28年3月6～8日に愛媛大学（愛媛県松山市）において開催することが承認された。
7. その他
  - ・山内第42回大会委員長より挨拶があった。

### 第41回通常総会議事録

平成28年3月17日（木）午前9時00分より，くにびきメッセ国際会議場（島根県松江市）において，第41回通常総会が開催された。会則24条に則り米山会長を議長として議事を進行した。

議 事：

1. 平成27年度事業報告および決算報告
  - ・総務・編集・渉外・学会賞選考の各項目について各担当者が報告を行った。次いで，収支決算について会計担当者が報告を行った後，内田監事から収支決算の内容が的確であったとの会計監査結果が報告された。以上の報告について質疑を受けたのち，異議なく承認された。

2. 平成28年度事業計画および収支予算について
  - ・事業計画案および収支予算案について各担当者が説明を行い，質疑を受けたのち，原案の通り承認された。
3. 終身会員の推薦について
  - ・第41回評議員会において終身会員5名が承認された旨報告があった。
4. 第42回大会について
  - ・第41回大会を平成29年3月6～8日に愛媛大学（愛媛県松山市）において開催することが承認された。
5. その他
  - ・40周年記念事業について，寄付事業の結果および今後の既刊出版物の電子化と国際学会渡航費補助を計画について報告され，承認された。

資料：

### I 会務報告

#### 1. 総務関係報告

##### 1) 会員異動（平成27.1.1～平成27.12.31）

	平成26年	平成27年12月31日現在			増 減 (△減)
	12月31日 現在	国 内	国 外	計	
名誉会員	20	19	1	20	0
終身会員	51	50	0	50	△1
正 会 員	1122	1053	17	1070	△52 <sup>a</sup>
学生会員	50	49	0	49	△1 <sup>b</sup>
維持会員	38	38	0	38	0
(口数)	(75口)	(75口)		(75口)	0口
団体会員	83	83	0	83	0
購読会員	36	10	23	33	△3

<sup>a</sup>入会者：52名，退会者：45名，会費未納者：59名

<sup>b</sup>入会者：21名，退会者：14名，会費未納者：8名

#### 2) 会誌の発行

発行および頒布部数（平成27.1.1～平成27.12.31）

誌-巻-号	農薬誌-40-1	JPS-40-1, 2	農薬誌-40-2	JPS-40-3, 4
発行部数	1530	1530	1500	1500
会員頒布	1354	1354	1354	1354
一般購読	33	33	33	33
寄 贈	24	24	24	24
広告・PR	10	10	10	10
事 務 用	2	2	2	2
保 存 用	5	5	5	5
計	1428	1428	1428	1428
残存部数	102	102	72	72

#### 3) 日本農薬学会第40回記念大会

(1) 第40回記念大会：平成27年3月18日（水）に玉川学

園講堂において、総会、学会賞授賞式、受賞講演（奨励賞2題、業績賞（研究）1題、業績賞（技術）2題）、特別講演会（1題）が行われた。同日午後の設立40周年記念式典では、会長式辞、個人・団体への感謝状贈呈（29件）、来賓挨拶が行われ、記念講演会（3題）、記念祝賀会が開催された。翌3月19日（木）～20日（金）には玉川学園視聴覚センターにおいて、一般講演（103題）、シンポジウム（2件）、ランチョンセミナー（6件）が行われた。参加者総数は約560名であった。

- (2) 第40回通常総会：平成26年度会務報告、会計報告、会計監査報告および終身会員の推薦の報告が行われ、平成26年度事業報告および決算、平成27年度事業計画および収支予算（案）、日本農薬学会大会第40回大会（平成27年、東京都町田市、玉川大学）の開催が承認された。また、平成27年度日本農薬学会賞（奨励賞、業績賞）、論文賞および功労賞の授賞式が行われた。（27.3.18）

#### 4) 役員会の開催

- (1) 第41回評議員会：平成26年度会務報告、会計報告および役員選挙報告が行われ、平成27年度事業計画および収支予算（案）、日本農薬学会役員選出規定の改定、会長指名による役員、終身会員、日本農薬学会大会第41回大会（平成28年、島根県松江市 島根大学）の開催が承認された。（27.3.17）
- (2) 常任評議員会：6回（27.5.16, 8.1, 9.5, 12.5, 28.2.6, 3.16）

#### 5) 専門委員会など

- (1) 第42回編集委員会：（28.3.16）
- (2) 常任編集委員会：4回 [27.5.9, 8.1, 11.7, 28.1.19（メール会議）]
- (3) 日本農薬学会賞受賞者選考委員会：2回（27.5.30, 10.5）、メール会議複数回
- (4) 財務委員会：  
1. 財務に関する会議をメールにて数回行った。  
2. 国際会議の渡航費補助申請の審査を行った。なお、渡航補助の一部は学会設立40周年記念事業寄付金より支出した。
- (5) 第40回大会組織委員会：2回（26.8.7, 27.1.24）
- (6) 将来計画委員会：1回（27.7.17）、メール会議数回
- (7) 環境委員会：2回（27.6.20, 12.13）、農薬理解促進ワーキンググループ3回（27.6.14, 8.16, 12.13）
- (8) HP委員会：メール会議数回
- (9) 農薬科学研究補助金交付者審査会議：一次審査（27.12.21～28.1.22メール会議）、二次審査（28.2.6）
- (10) 学術小集会委員長と常任評議員との懇談会：1回（27.9.5）
- (11) 三学会長懇談会：1回（27.10.27）
- (12) 日本植物防疫協会と三学会との懇談会：1回（27.10.27）

#### 6) 技術士育成推進委員会

- 1回の委員会が開催された（27.10.8）。

## 2. 編集関係報告

### 1) 「日本農薬学会誌」掲載原稿数および頁数

巻号	掲 載 原 稿 数									計	頁 数
	投稿論文	解説	受賞論文	実験技術 講座	ミニ レビュー	シンポジア	読み物 シリーズ	その他			
40-1					13	2	3	12 <sup>a</sup>	30	144 <sup>b</sup>	
40-2	1 <sup>c</sup>	2	6				3	5 <sup>d</sup>	17	109 <sup>e</sup>	
合 計	1	2	6	0	13	2	6	17	47	253	

a: 特別記事（第13回IUPAC農薬化学国際会議）8編、JPS掲載論文の要旨2編、エラータ1編、追悼1編。

b: この他に大会案内を掲載（26頁）。

c: 技術資料。

d: JPS掲載論文の要旨2編、日本農薬学会設立40周年記念行事1編、追悼1編、2014年投稿論文審査員へのお礼1編。

e: この他に会則等を掲載（17頁）。

2) 「Journal of Pesticide Science」掲載原稿数および頁数

巻号	掲 載 原 稿 数							計	頁 数
	総説	報文	短報	速報	技術資料	受賞論文	その他		
40-1	1	3						4	31
40-2		3	3		1			7	37 (+5) <sup>a</sup>
40-3	1	8	1			5	1 <sup>b</sup>	16	105
40-4		5		1			3 <sup>c</sup>	9	56 (+5) <sup>a</sup>
合 計	2	19	4	1	1	5	4	36	229 (+10)

a: Instructions for authors.

b: Erratum.

c: Contents of Volume 40 (JPS および農業誌), Keyword Index, Author Index.

3) 論文賞

候補1件を、学会賞受賞者選考委員会に推薦した。

4) 投稿細則等の一部改正

編集上の利便性を高めるために、投稿細則と Instructions for Authorsの一部を改正した。

5) その他

- (1) 受付論文数(2015年): 和文3編, 英文78編(内, 国内からの投稿37編)
- (2) 学会誌インパクトファクター(過去5年間の平均値): 0.685
- (3) 電子ジャーナル掲載論文の月平均ダウンロード数: 約7,000件

3. 渉外・企画関係報告

1) セミナーの開催

- (1) 残留農薬分析セミナーの開催: 近畿大学農学部(奈良県奈良市, 27.9.8), 明治薬科大学剛堂会館(東京都千代田区, 27.10.21).

2) 農業科学研究奨励金

農業科学研究に対する研究奨励金を平成27年度は以下の3件の研究に対して交付した。

- (1) 秋月 岳氏(農業生物資源研究所昆虫科学研究領域): 昆虫培養細胞を用いた殺虫剤抵抗性の発現・発達における異物認識特性の解明
- (2) 伊藤晋作氏(東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科): 植物寄生センチュウによる植物認識機構の解析研究
- (3) 西脇 寿氏(愛媛大学農学部): リガンド結合モデルに基づいた新規ニコチンアンタゴニスト剤の創製

3) 学術小集会

- (1) 農薬残留分析研究会(第38回): 名鉄犬山ホテル(愛知県犬山市)において開催。農薬環境科学研究会と合同で「広い視点で考えよう 農薬を取り巻く諸問題」をテーマとしてシンポジウム講演4題, 特別講演1題, ポスター26題, 分析講習会講演1題の発表が行われた。参加者は245名であった。(27.10.15~16)
- (2) 農薬製剤・施用法研究会(第35回): つくば国際会議場(茨城県つくば市)において開催。特別講演4題, 技術研究発表8題, フォーラム1件, ポスター12件の発表が行われた。参加者は329名であった。(27.10.15~16)
- (3) 農薬環境科学研究会(第33回): 名鉄犬山ホテル(愛知県犬山市)において開催。農薬残留分析研究会と合同で「広い視点で考えよう 農薬を取り巻く諸問題」をテーマとしてシンポジウム講演4題, 特別講演1題, ポスター26題, 分析講習会講演1題の発表が行われた。参加者は245名であった。(27.10.15~16)
- (4) 農薬生物活性研究会(第32回): 東京農業大学(東京都世田谷区)において開催。「殺菌剤編」「殺虫剤編」および「除草剤編」の3部構成として, 合計6題の講演が行われた。参加者は110名であった。(27.4.24)
- (5) 農薬デザイン研究会(第30回): メルパルク京都(京都府京都市)において開催。「環境調和を志向した農薬デザイン」をテーマに4題の講演が行われたほか, 24題のポスター発表が行われた。参加者は129名であった。(27.11.12)
- (6) 農薬レギュラトリーサイエンス研究会(第23回): 文部科学省研究交流センター・国際会議場(茨城県つくば市)において開催。「農薬の安全と安心のための急性影響評価の導入」をテーマとして4題の講演が行われた。参加者は137名であった。(27.11.30)

#### 4) 学術小集会以外の研究会等

- (1) 構造活性フォーラム2015 (協賛): 東京都渋谷区 (27.6.12)
- (2) 第30回報農会シンポジウム (協賛): 東京都北区 (27.9.16)
- (3) 第43回構造活性相関シンポジウム (後援): 新潟県新潟市 (27.9.27 ~ 9.29)
- (4) 平成27年度日本農学会シンポジウム: 東京都文京区 (27.10.3)
- (5) 第32回製剤と粒子設計シンポジウム (協賛): 愛知県豊橋市 (27.10.22 ~ 10.23)
- (6) 日本分析化学会関東支部 機器分析講習会 第3コース (協賛): 東京都千代田区 (27.11.5 ~ 11.6)
- (7) 日本学術会議公開シンポジウム「植物保護における外来種問題を考える」(日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会, 植物保護科学連合 主催): 東京都文京区 (27.11.14)
- (8) 第8回環境保全型農業シンポジウム・第19回日本バイオロジカルコントロール協議会講演会共催シンポジウム (後援): 東京都文京区 (28.3.2)

#### 5) 国際会議等派遣研究者への渡航費補助

交付者: 布施利紀, 宮下正弘, 畠山誉史

#### 4. 日本農薬学会賞受賞者選考委員会報告

##### 1) 奨励賞, 業績賞 (研究, 技術)

評議員ならびに学術小集会委員長より推薦された奨励賞3課題, 業績賞 (研究) 1課題, 業績賞 (技術) 3課題について慎重公正なる選考を行った結果, 次の6課題を各賞の候補と決定した。

##### 【奨励賞】

平田晃一氏 (日本曹達株式会社)

「神経系作用化合物の作用機構に関する研究」

謝 肖男氏 (宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)

「根寄生雑草種子発芽刺激物質の構造解析研究」

##### 【業績賞 (研究)】

夏目雅裕氏 (東京農工大学大学院農学研究院)

「微生物の生長や分化に関わる生理活性天然物の研究」

##### 【業績賞 (技術)】

佐伯 学氏 矢野哲彦氏 中屋潔彦氏 玉田佳丈氏 (日産

化学工業株式会社)

「水稲用除草剤「メタゾスルフロン」の開発」

中谷昌央氏 山地充洋氏 本田久志氏 内田幸生氏 (ケイ・アイ研究所, クミアイ化学工業, イハラケミカル工業)

「畑作用除草剤「ピロキサスルホン」の開発」

木戸庸裕氏 沖田洋行氏 岡村充康氏 竹内 崇氏 森田健氏 (北興化学工業株式会社)

「水稲用除草剤「イプフェンカルバゾン」の開発」

#### 2) 論文賞

編集委員会より推薦された論文について慎重公正なる審査を行い, 候補を決定した。

「Action mechanism of the novel rice blast fungicide tolprocarb distinct from that of conventional melanin biosynthesis inhibitors」

Takahiro Hamada, Mineko Asanagi, Tomomi Satozawa, Natsuko Araki, Shinichi Banba, Norikazu Higashimura, Tomohisa Akase, Kangetsu Hirase (Mitsui Chemicals Agro, Inc., Japan Science and Technology Agency) Vol. 39, No. 3, pp. 152-158 (2014)

#### 5. 平成28年度日本農薬学会奨励賞, 業績賞および論文賞受賞者の決定

学会賞受賞者選考委員会で選考された日本農薬学会奨励賞, 業績賞および論文賞各候補について, 評議員の投票により授賞が決定した。

#### 6. 日本農学賞の決定

平成28年1月22日に開催された日本農学会の評議員会において, 日本農薬学会から推薦した安藤 哲氏への日本農学賞の授与が決定された。

#### 7. 日本農薬学会設立40周年記念事業

本事業は, 設立40周年記念行事の開催, 国際学術交流の支援, 農薬科学研究の奨励, 農薬理解促進活動の推進, 出版物の電子化等を行うことを目的としている。平成27年度は, 第40回記念大会での設立40周年記念行事(式典, 講演会, 祝賀会)の開催, 若手の国際学術交流支援(国際学術交流費特別加算), 若手の農薬科学研究助成(農薬科学研究奨励金特別加算), ならびに農薬の理解を促進するための新規ウェブサイトの作製(40周年記念イベント・農薬理解促進HP作製)が実施された。

II 会計報告

収支計算書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	17,721,000	17,553,022	167,978	
正会員会費収入	8,800,000	8,703,000	97,000	会員減
学生会員会費収入	116,000	96,000	20,000	
海外会員会費収入	75,000	96,022	△21,022	
団体会員会費収入	830,000	840,000	△10,000	
購読会員会費収入	400,000	318,000	82,000	購読会員減
維持会員会費収入	7,500,000	7,500,000	0	
会報刊行収入	1,040,000	877,200	162,800	
頒布収入	50,000	54,700	△4,700	
広告料収入	190,000	220,000	△30,000	
著者負担金収入	800,000	602,500	197,500	
事業収入	19,634,000	21,771,541	△2,137,541	
大会運営収入	6,010,000	6,942,069	△932,069	参加者増
学術小集会運営収入	12,955,000	14,344,772	△1,389,772	7研究会合計
環境委員会収入	669,000	484,700	184,300	
40周年記念事業収入	2,500,000	2,890,000	△390,000	寄付金
雑収入	108,000	1,162,055	△1,054,055	
預金利息収入	8,000	8,252	△252	
雑収入	100,000	1,153,803	△1,053,803	名誉会員栗原紀夫氏 ご遺族からの寄付
事業活動収入計	41,003,000	44,253,818	△3,250,818	
2. 事業活動支出				
会報刊行費支出	9,460,000	9,242,291	217,709	
旅費交通費支出	100,000	134,341	△34,341	
通信運搬費支出	10,000	7,622	2,378	
消耗品費支出	150,000	147,592	2,408	
印刷製本費支出	6,500,000	7,313,949	△813,949	編集費からの
編集費支出	2,000,000	1,014,688	985,312	科目変更
学会誌送料支出	700,000	624,099	75,901	
総会・大会費支出	6,850,000	6,216,680	633,320	
学術小集会費支出	13,908,000	13,374,890	533,110	7研究会合計
環境委員会支出	662,000	752,473	△90,473	
HP管理費支出	1,200,000	2,229,135	△1,029,135	HPリニューアル
学会賞関係費支出	730,000	1,181,788	△451,788	功労賞等
学術交流費支出	300,000	286,700	13,300	
国際学術交流費支出	300,000	427,931	△127,931	3件
農業科学研究奨励金支出	1,000,000	1,000,000	0	
事業運営費支出	1,750,000	2,838,207	△1,088,207	
会議費支出	800,000	760,594	39,406	
旅費交通費支出	950,000	2,077,613	△1,127,613	常任評議員交通費等
管理費支出	4,251,000	4,222,661	28,339	
旅費交通費支出	50,000	24,950	25,050	
通信運搬費支出	200,000	306,948	△106,948	
消耗品費支出	150,000	150,897	△897	
事務管理費支出	3,365,000	3,365,000	0	
印刷費支出	50,000	43,200	6,800	
外部会計監査管理費支出	136,000	18,960	117,040	会計士委託費用
雑支出	300,000	312,706	△12,706	



(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
40周年記念事業支出	4,000,000	2,890,000	1,110,000	ACS会議渡航補助(一部) 既刊誌電子化遅延
事業活動支出計	44,411,000	44,662,756	△251,756	
事業活動収支差額	△3,408,000	△408,938	△2,999,062	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
寄付基金口取得支出	0	1,000,000	△1,000,000	
40周年記念事業基金取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
投資活動支出計	1,000,000	1,000,000	0	
投資活動収支差額	△1,000,000	△1,000,000	0	
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	△4,408,000	△1,408,938	△2,999,062	
前期繰越収支差額	5,176,902	5,176,902	0	
次期繰越収支差額	768,902	3,767,964	△2,999,062	

### 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	9,267,988	9,719,309
未収金	1,401,081	1,945,429
仮払金	988,855	137,736
合 計	11,657,924	11,802,474
未払金	0	1,708,560
前受金	6,481,022	6,325,950
預り金	0	0
合 計	6,481,022	8,034,510
次期繰越収支差額	5,176,902	3,767,964

貸借対照表

平成27年12月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,719,309	9,267,988	451,321
現金	464,897	34,376	430,521
普通預金	8,861,212	8,481,033	380,179
振替貯金	393,200	752,579	△359,379
未収金	1,945,429	1,401,081	544,348
仮払金	137,736	988,855	△851,119
流動資産合計	11,802,474	11,657,924	144,550
2. 固定資産			
特定資産			
積立調整基金	13,224,379	13,224,379	0
国際学術交流基金	16,885,042	16,885,042	0
寄付基金	8,764,117	7,764,117	1,000,000
40周年記念事業基金	1,787,000	1,787,000	0
特定資産合計	40,660,538	39,660,538	1,000,000
固定資産合計	40,660,538	39,660,538	1,000,000
資産合計	52,463,012	51,318,462	1,144,550
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,708,560	0	1,708,560
前受金	6,325,950	6,481,022	△155,072
流動負債合計	8,034,510	6,481,022	1,553,488
負債合計	8,034,510	6,481,022	1,553,488
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	44,428,502	44,837,440	△408,938
正味財産合計	44,428,502	44,837,440	△408,938
負債及び正味財産合計	52,463,012	51,318,462	1,144,550

正味財産増減計算書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	17,553,022	17,711,718	△ 158,696
正会員会費	8,703,000	8,792,000	△ 89,000
学生会員会費	96,000	116,000	△ 20,000
海外会員会費	96,022	69,718	26,304
団体会員会費	840,000	840,000	0
講読会員会費	318,000	394,000	△ 76,000
維持会員会費	7,500,000	7,500,000	0
会報刊行収益	877,200	1,205,453	△ 328,253
頒布収益	54,700	60,000	△ 5,300
広告料収益	220,000	230,000	△ 10,000
著者負担金益	602,500	915,453	△ 312,953
事業収益	21,771,541	23,117,824	△ 1,346,283
大会運営収益	6,942,069	7,133,557	△ 191,488
学術小集会運営収益	14,344,772	15,037,767	△ 692,995
環境委員会収益	484,700	946,500	△ 461,800
40周年記念事業収益	2,890,000	4,937,000	△ 2,047,000
雑収益	1,162,055	255,639	906,416
預金利息収益	8,252	7,699	553
雑収益	1,153,803	247,940	905,863
経常収益計	44,253,818	47,227,634	△ 2,973,816
(2) 経常費用			
会報刊行費	9,242,291	8,053,922	1,188,369
旅費交通費	134,341	39,940	94,401
通信運搬費	7,622	6,706	916
消耗品費	147,592	125,739	21,853
印刷製本費	7,313,949	6,106,456	1,207,493
編集費	1,014,688	1,270,128	△ 255,440
学会誌送料	624,099	504,953	119,146
総会・大会費	6,216,680	5,868,216	348,464
学術小集会費	13,374,890	15,401,378	△ 2,026,488
環境委員会	759,543	770,446	△ 10,903
H P 管理費	2,229,135	1,142,540	1,086,595
学会賞関係費	1,181,788	476,380	705,408
学術交流費	286,700	248,850	37,850
国際学術交流費	427,931	0	427,931
農業科学研究奨励金費	1,000,000	1,000,000	0
選挙関連費	0	270,000	△ 270,000
事業運営費	2,838,207	1,409,924	1,428,283
会議費	760,594	683,544	77,050

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	2,077,613	726,380	1,351,233
管理費	4,215,591	4,199,535	16,056
旅費交通費	24,950	117,100	△92,150
通信運搬費	299,878	296,017	3,861
消耗品費	150,897	102,349	48,548
事務管理費	3,365,000	3,334,000	31,000
印刷費	43,200	42,000	1,200
外部会計監査費	18,960	0	18,960
雑費	312,706	308,069	4,637
40周年記念事業費	2,890,000	3,150,000	△260,000
経常費用計	44,662,756	41,991,191	2,671,565
評価損益等調整前当期経常増減額	△408,938	5,236,443	△5,645,381
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△408,938	5,236,443	△5,645,381
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	△408,938	5,236,443	△5,645,381
一般正味財産期首残高	44,837,440	39,600,997	5,236,443
一般正味財産期末残高	44,428,502	44,837,440	△408,938
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高			
	44,428,502	44,837,440	△408,938

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
積立調整基金口	13,224,379	0	0	13,224,379
国際学術交流基金	16,885,042	0	0	16,885,042
寄付基金口	7,764,117	1,000,000	0	8,764,117
40周年記念事業基金	1,787,000	0	0	1,787,000
合 計	39,660,538	1,000,000	0	40,660,538

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
積立調整基金口	13,224,379	(0)	(13,224,379)	(0)
国際学術交流基金	16,885,042	(0)	(16,885,042)	(0)
寄付基金口	8,764,117	(0)	(8,764,117)	(0)
40周年記念事業基金	1,787,000	(0)	(1,787,000)	(0)
合 計	40,660,538	(0)	(40,660,538)	(0)

財産目録

平成27年12月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	金額
(流動資産)	
現金	464,897
預金	8,861,212
普通預金	
三井住友銀行白山支店	3,448,143
ジャパンネット銀行	1,563,260
CITIBANK	959,809
三井住友銀行白山支店	2,890,000
振替貯金	393,200
未収金	1,945,429
仮払金	137,736
編集事務局	137,236
デポジット料金	500
流動資産合計	11,802,474
(固定資産)	
特定資産	
積立調整基金	13,224,379
三井住友銀行白山支店定期	13,224,379
国際学術交流基金	16,885,042
三井住友銀行白山支店定期	13,885,042
ジャパンネット銀行定期	3,000,000
寄付基金	8,764,117
三井住友銀行白山支店定期	6,964,117
CITIBANK	300,000
ジャパンネット銀行定期	1,500,000
40周年記念事業基金	1,787,000
三井住友銀行白山支店普通	1,787,000
固定資産合計	40,660,538
資産合計	52,463,012
(流動負債)	
未払金	1,708,560
前受金	6,325,950
正会員	6,258,000
学生会員	16,000
海外会員	11,950
団体会員	40,000
流動負債合計	8,034,510
負債合計	8,034,510
正味財産	44,428,502

日本農薬学会設立40周年記念事業収支報告

科目	平成26年～平成27年 決算額(円)	平成28年～平成29年 予算額(円)	備考
収入の部			
法人からの寄付	6,000,000		120口
個人からの寄付	1,827,000		365.4口
収入合計	7,827,000	1,787,000	
支出の部			
40周年記念行事関係			平成27年度大会
感謝状作成費	96,012		
謝礼・交通費	221,000		
懇親会費	272,000		
40周年記念特別加算			
国際学術交流費特別加算			
平成26年度	3,150,000		IUPAC-ICPC渡航補助20万円15名、 15万円1名
平成27年度	166,564		ACS会議渡航補助
平成28年度		500,000	国際会議渡航補助
平成29年度		500,000	国際会議渡航補助
農薬科学研究奨励金特別加算			
平成27年度	1,100,000		70万円3名の一部
40周年記念イベント関係			
農薬理解促進HP作製費			
平成27年度	1,034,424		
出版物等の電子化			
平成28年度		787,000	
支出合計	6,040,000	1,787,000	
収支差額	1,787,000	0	

III 会計監査報告

平成27年度日本農薬学会の事業報告および決算について監査の結果、的確であることを認めます。

平成28年2月15日

監事 内田 又左衛門 印  
寺岡 徹 印

IV 議事

1. 平成27年度事業報告および決算の承認

2. 平成28年度事業計画および収支予算（案）

- 1) 会誌の発行：日本農薬学会誌 第41巻，第1号～第2号  
Journal of Pesticide Science 誌 第41巻，  
第1号～第4号

- 2) 第41回大会の開催：28.3.17～19，島根大学（島根県  
松江市）

3) 日本農薬学会賞および論文賞の授与

4) 専門委員会の開催

- (1) 編集委員会  
(2) 常任編集委員会  
(3) 日本農薬学会賞受賞者選考委員会  
(4) 財務委員会  
(5) 第42回大会組織委員会  
(6) 将来計画委員会  
(7) 環境委員会

- 
- (8) HP委員会 (28.11.16～17)
  - (9) 農薬科学研究奨励金交付者審査会議（一次および二次）
  - (10) 選挙管理委員会
- 5) セミナーの開催**
- (1) 残留農薬分析セミナー 2016を開催予定（2回程度、開催地および日時未定）
  - (2) 農薬の安全性等に関する講師派遣を予定
- 6) 学術小集会、講演会等の開催**
- (1) 農薬残留分析研究会：第39回農薬残留分析研究会をイーグレひめじ（兵庫県姫路市）において開催。（28.10.13～14）
  - (2) 農薬製剤・施用法研究会：第36回農薬製剤・施用法シンポジウムを神奈川県民ホール（神奈川県横浜市）において開催。（28.10.6～7）
  - (3) 農薬環境科学研究会：第34回農薬環境科学研究会をルミエール府中（東京都府中市）において開催。（28.11.10～11）
  - (4) 農薬生物活性研究会：第33回シンポジウムを東京農業大学（東京都世田谷区）において開催。（28.4.22）
  - (5) 農薬デザイン研究会：第31回農薬デザイン研究会を京都大学（京都府京都市）において開催
- (6) 農薬レギュラトリーサイエンス研究会：第24回シンポジウムを11月に開催予定（開催地は東京都、詳細日時未定）
  - (7) 農薬バイオサイエンス研究会（第13回）：島根大学（島根県松江市）において開催（第41回大会との共催）。（28.3.18）
- 7) 農薬科学研究奨励金の交付**
- 農薬科学研究に対する研究奨励金を平成28年度は以下の2件の研究に対して交付する予定である。
- (1) 甲斐建次氏（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）：青枯病クロラムセンシングシグナル分子の受容機構の解明
  - (2) 林 昌平氏（島根大学生物資源学部）：Bradyrhizobium属細菌が転写調節機構の変化によって除草剤2,4-ジクロロフェノキシ酢酸および2,4,5-トリクロロフェノキシ酢酸分解能を獲得する機構の解明
- 8) 日本農薬学会設立40周年記念事業**
- 農薬理解促進のためのウェブサイトの開設，学会関連出版物等の電子化，ならびに国際学術交流の支援を行う。
- 9) 平成29・30年度日本農薬学会役員選挙**
-



10) 平成28年度収支予算(案)

平成28年度収支予算(案)

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

(単位:円)

科 目	28年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	17,680,000	17,721,000	△41,000	
正会員会費収入	8,800,000	8,800,000	0	
学生会員会費収入	100,000	116,000	△16,000	
海外会員会費収入	100,000	75,000	25,000	
団体会員会費収入	830,000	830,000	0	
購読会員会費収入	350,000	400,000	△50,000	
維持会員会費収入	7,500,000	7,500,000	0	
会報刊行収入	900,000	1,040,000	△140,000	
頒布収入	50,000	50,000	0	
広告料収入	200,000	190,000	10,000	
著者負担金収入	650,000	800,000	△150,000	
事業収入	18,436,000	19,634,000	△1,198,000	
大会運営収入	7,520,000	6,010,000	1,510,000	
学術小集会運営収入	10,243,000	12,955,000	△2,712,000	7研究会合計
環境委員会収入	673,000	669,000	4,000	
40周年記念事業収入	0	2,500,000	△2,500,000	
雑収入	108,000	108,000	0	
預金利息収入	8,000	8,000	0	
雑収入	100,000	100,000	0	
事業活動収入計	37,124,000	41,003,000	△3,879,000	
2. 事業活動支出				
会報刊行費支出	9,300,000	9,460,000	△160,000	
旅費交通費支出	140,000	100,000	40,000	
通信運搬費支出	10,000	10,000	0	
消耗品費支出	150,000	150,000	0	
印刷製本費支出	7,300,000	6,500,000	800,000	
編集費支出	1,100,000	2,000,000	△900,000	
学会誌送料支出	600,000	700,000	△100,000	
総会・大会費支出	7,670,000	6,850,000	820,000	
学術小集会費支出	11,480,000	13,908,000	△2,428,000	7研究会合計
環境委員会支出	828,200	662,000	166,200	
HP管理費支出	800,000	1,200,000	△400,000	
学会賞関係費支出	650,000	730,000	△80,000	
学術交流費支出	300,000	300,000	0	
国際学術交流費支出	300,000	300,000	0	
農業科学研究奨励金支出	1,000,000	1,000,000	0	
選挙管理費支出	300,000	0	300,000	
男女共同参画支援費支出	200,000	0	200,000	
事業運営費支出	2,900,000	1,750,000	1,150,000	
会議費支出	800,000	800,000	0	
旅費交通費支出	2,100,000	950,000	1,150,000	
管理費支出	4,477,000	4,251,000	226,000	
旅費交通費支出	250,000	50,000	200,000	
通信運搬費支出	300,000	200,000	100,000	
消耗品費支出	160,000	150,000	10,000	
事務管理費支出	3,177,000	3,365,000	△188,000	
印刷費支出	50,000	50,000	0	
外部会計監査管理費支出	130,000	136,000	△6,000	

(単位：円)

科 目	28年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
雑支出	410,000	300,000	110,000	
40周年記念事業支出	1,287,000	4,000,000	△2,713,000	既刊誌電子化、渡航補助 特別加算等
事業活動支出計	41,492,200	44,411,000	△2,918,800	
事業活動収支差額	△4,368,200	△3,408,000	△960,200	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	1,287,000	0	1,287,000	
40周年記念事業基金 取崩収入	1,287,000	0	1,287,000	
投資活動収入計	1,287,000	0	1,287,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	0	1,000,000	△1,000,000	
40周年記念事業基金 取得支出	0	1,000,000	△1,000,000	
投資活動支出計	0	1,000,000	△1,000,000	
投資活動支差額	1,287,000	△1,000,000	2,287,000	
III 財務活動収支の部				
当期収支差額	△3,081,200	△4,408,000	1,326,800	
前期繰越収支差額	3,767,964	5,176,902	△1,408,938	
次期繰越収支差額	686,764	768,902	△82,138	

### 11) その他

幌岩 真理 立花 誠治 内田 景子 岩淵 彩  
 焼尾 真緒 高市 成美 GUO, Ming 小久保 悠  
 DANDAN, Li 山岸 聖 崎田 遼 山田 将太  
 中田侑之介 美里 成志  
**海外会員**  
 RS, Sethi

(受付順)

### 3. 終身会員の推薦

会則第7条2項により、千野義彦氏、小林裕子氏、桑原保正氏、宮田 正氏、竹内安智氏を終身会員に推薦し、評議員会において承認された。

### 4. 日本農業学会第42回大会(平成29年)

第42回大会を平成29年3月6～8日に愛媛大学(愛媛県松山市)において開催する。

### 退会

#### 正会員

原 弘幸 島山えり子 林 英雄 今村 圭一  
 岩撫 晴子 川田 修司 小林 孝雄 駒井佐知子  
 桑田 貴子 前田 嘉洋 牧野 知之 松田恵理子  
 松森 國彦 水野 晶己 村井 重夫 長崎 洋子  
 中島 晋也 佐合 隆一 佐藤 英子 鈴木 俊広  
 田丸 雅敏 當寺ヶ盛學 内田 成人 山口 茂  
 安田美智子 松井 美樹 市川 千種 笠原 達矢  
 翠 浩二 岡本 真理 近藤 智 黒瀬 裕  
 長澤 悟 小嶋 健 藤井 聡 齊藤 誉朋  
 伊藤 祐生 牛木 圭介 Wang, Mengcen 長谷部綾香  
 西山 孝顕 川村 裕紀 山下 正純 富谷 完治  
 長峯 啓佑 佃晋 太郎 設楽 研司 大谷 知弘  
 中根 権人 大西 敦子 佐藤 敦 玄 大雄  
 宮本 直美 田栗 知憲 東浦 智也 榎元 清美  
 夏原 活也 Muhammad Naeemmushtaq 布山 美恵

### 5. その他

#### 会 員 異 動

(平成27年12月1日～平成28年1月31日)

#### 入会

#### 正会員

近藤 智 山口 諄 相川 裕輝 佐野 勇気  
 長谷川由加里 三宅 徳顕 湯浅 一康 大平 大輔  
 垣谷 彩乃 池田 庸二 佐藤 善孝 内藤 優  
 近藤 直彦 木原 罔男 笠神 威雄 並木小百合  
 岡島 有規 山内 聡 浅野 美和

#### 学生会員

西野 雄人 伊藤 剛 水谷 将馬 森本 紀子

川戸 伸一 坂本 賢昭 河合 祐子

学生会員

西峯 貴之 松下 智久

海外会員

LEE, Kyu Seung 巨修 練 Jo, Hyun-Ja Kate L. Marshall

ロプケ由佳里

団体会員

キリン株式会社 (一財) 日本冷凍食品検査協会

山口県環境保健センター

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛する会議等

**2016年**

**6月**

20日(月)～24日(金) 11th International Symposium on Adjuvants for Agrochemicals (ISAA 2016)

主催: International Society for Agrochemical Adjuvants

会場: Monterey Conference Center [One Portola Plaza Monterey, CA 93940]

URL: <http://events.isaa-online.org/page/269/welcome-to-isaa-2016.html>

**7月**

4日(月)～6日(水) 第43回BMSコンファレンス

主催: 日本質量分析学会 BMS研究会

会場: ホテルニューアカオ [〒413-8555 静岡県熱海市熱海1993-250]

URL: <http://www.mssj.jp/society/branch/bms/bms43.html>

**10月**

3日(月)～6日(木) 第12回エコバランス国際会議

主催: 日本LCA学会

会場: 京都テルサ [〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地 京都府民総合交流プラザ内]

URL: <http://www.ecobalance2016.org/>

**6日(木)～7日(金) 第36回農薬製剤・施用法シンポジウム**

主催: 日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

会場: 神奈川県民ホール [〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町3-1]

URL: <http://pssj2.jp/committee/formulation.html>

9日(日)～13日(木) 第9回国際PCBワークショップ

主催: 第9回国際PCBワークショップ実行委員会

会場: 神戸コンベンションセンター 神戸国際会議場 [〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目

11-1]

URL: <http://ee-net.ne.jp/pcb2016/>

**13日(木)～14日(金) 第39回農薬残留分析研究会**

主催: 日本農薬学会 農薬残留分析研究会

会場: イーグレひめじ [〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-290]

URL: <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu39.html>

28日(金)～30日(日) 植物化学調節学会第51回大会

主催: 植物化学調節学会

会場: 高知大学物部キャンパス [〒783-8502 高知県南国市物部乙200]

URL: [http://www.jsrjp/calendar/years/第51回大会\(高知\).html](http://www.jsrjp/calendar/years/第51回大会(高知).html)

**11月**

**10日(木)～11日(金) 第34回農薬環境科学研究会**

主催: 日本農薬学会 農薬環境科学研究会

会場: ルミエール府中市市民会館 [〒180-0055 東京都府中市府中町2-24]

URL: <http://pssj2.jp/committee/environment.html>

**11月**

**16日(水)～17日(木) 第31回農薬デザイン研究会**

主催: 日本農薬学会 農薬デザイン研究会

会場: 京都大学医学部創立百周年記念施設「芝蘭会館」 [〒606-8315 京都府京都市左京区吉田近衛町]

URL: <http://pssj2.jp/committee/design.html>

学会主催会議等の詳細

**第36回農薬製剤・施用法研究会**

主催: 日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

協賛: 農業食料工学会, 日本雑草学会, 粉体工学会, 日本化学会, 高分子学会, 色材協会, 日本油化学会

日時: 平成28年10月6日(木)～7日(金)

場所: 神奈川県立県民ホール 小ホール [〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町3-1]

(みなとみらい線日本大通り駅より徒歩約6分)

TEL: 045-662-5901 FAX: 045-641-3184

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

URL: <http://www.pssj2.jp/committee/seizai/seizai36.html>

プログラム(予定):

10月6日(木) 13:00～17:00

(特別講演1)「日本農業のこれから」  
横田敏恭 (アグリビジネス推進研究協会)  
(技術研究発表)  
(ポスターセッション)

〈懇親会 18:00～20:00〉

10月7日(金) 9:30～16:00

(特別講演2)「The Evolution of Global Regulatory as applicable to Agrochemicals—Past, Present and Future」  
Curtis Elsik, Ph. D. (Huntsman Corporation)  
(技術研究発表)  
(フォーラム)  
「CIPAC報告(仮題)」

#### 参加申込み方法:

参加申込書を研究会ホームページからダウンロードし、所属、氏名(フリガナ)、連絡先等の必要事項を明記の上、平成28年6月30日(木)までにExcelファイル形式のままE-mailの添付ファイルで、もしくはファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい。(参加者名簿の誤植を防止するため可能な限り電子ファイルの送信での申込みをお願いいたします。)なお、発送事務等の省力化のため、会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめの上、一括してお申込み下さるようお願い致します。

大会運営の都合上定員(330名)になり次第、締め切らせていただきますのでお早目の申込みをお願い致します。申込み期限を過ぎますと、早期割引料金が適用されませんので、ご注意ください。

- ・参加申込書:別紙1 (<http://www.pssj.jp/committee/seizai/seizai36.html>)
- ・申込み先:バイエルクロップサイエンス(株) 開発センター 開発本部製剤開発部内  
第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局 参加申込み担当  
北垣 憲一(キタガキ ケンイチ) 宛  
〒307-0001 茨城県結城市結城9511-4  
TEL: 0296-33-8866 FAX: 0296-33-4491  
E-mail: seizai\_seyou36@bayer.com

#### 参加費:

- (1) 6月30日までに申込みの早期割引料金
  - ①日本農薬学会及び協賛学会(協会)会員の場合  
14,000円(内 研究会費8,000円, 懇親会費6,000円)
  - ②上記学会の会員でない場合:  
17,000円(内 研究会費11,000円, 懇親会費6,000円)
- (2) 7月1日～当日の参加申込みの通常料金

19,000円(内 研究会費13,000円, 懇親会費6,000円)  
なお、一日のみの参加、および懇親会の参加有無にかかわらず、参加料金は一律(研究会費+懇親会費)です。  
(振込手数料につきましては別途負担となります。)

#### 参加費振込:

参加申込み後は、下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します。また、一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご入金確認後に、折返し参加確認および・参加費振込確認書を送付致します。参加申込書にてお受け取り方法をご指定ください(E-mail, FAXまたは郵送)。

なお、参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。

振り込み先:三菱東京UFJ銀行 駒込支店(店番号061)  
普通口座番号:0020365  
口座名:農薬製剤施用法研究会(ノウヤクセイザイ セヨウホウ ケンキユウカイ)

#### 技術研究発表・ポスターセッション申込み:

技術研究発表・ポスターセッションは農薬製剤・施用法全般に関するものとします。

技術研究発表:プレゼンテーション(15分)+質疑応答(5分)

ポスターセッション:ショートプレゼンテーション(5分)の後、ポスター展示にて行います

発表を希望される方は、希望発表形式(口頭あるいはポスター)、演題、発表者、所属等を所定の申込み用紙(別紙2)に記入の上、平成28年6月30日(木)までに、E-mail、ファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい。また、発表希望者は、[技術研究発表要領](別紙3)により作成した発表要旨を平成28年7月29日(金)までにE-mailまたは郵送でお送り下さい。

尚、技術研究発表・ポスターセッションを希望される方も別途参加申込が必要となります。前項「参加申込み」に従って申込みをお願いします。

発表申込書:別紙2を参照ください

技術研究発表要領:別紙3を参照ください

(<http://www.pssj.jp/committee/seizai/seizai36.html>)

- ・送付先:北興化学工業(株) 開発研究所内  
第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局  
秋山 正樹(アキヤマ マサキ) 宛  
〒243-0023 神奈川県厚木市戸田2165番地  
TEL: 046-228-5881 FAX: 046-228-0164  
E-mail: seizaisympo@hokkochem.co.jp

#### 宿泊等:

事務局での宿泊手配は行っておりません。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をお願い致します。また、2日目の昼

食に弁当は用意しておりませんので、予めご了承ください。  
問い合わせ先：

[参加申込み、参加費に関するお問合せ]

バイエルクロップサイエンス(株) 開発センター 開発本部製剤開発部内

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

北垣 憲一(キタガキ ケンイチ)宛

〒307-0001 茨城県結城市結城9511-4

TEL: 0296-33-8866 FAX: 0296-33-4491

E-mail: seizai\_seyou36@bayer.com

[技術研究発表・ポスターセッションに関するお問合せ]

北興化学工業(株) 開発研究所内

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

秋山 正樹(アキヤマ マサキ)宛

〒243-0023 神奈川県厚木市戸田2165番地

TEL: 046-228-5881 FAX: 046-228-0164

E-mail: seizaisympo@hokkochem.co.jp

[その他シンポジウム全般に関する問い合わせ]

北興化学工業(株) 開発研究所内

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

秋山 正樹(アキヤマ マサキ)宛

〒243-0023 神奈川県厚木市戸田2165番地

TEL: 046-228-5881 FAX: 046-228-0164

E-mail: seizaisympo@hokkochem.co.jp

全国農業協同組合連合会 営農・技術センター 農薬研究室内

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

三輪 正昭(ミワ マサアキ)

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡4-18-1

TEL: 0463-22-7702 FAX: 0463-22-7502

E-mail: zz\_zk\_seizai\_seyo36@zennoh.or.jp

### 補助金制度のご案内

日本農薬学会では、会員の皆様の農薬科学研究の推進にお役立ていただく目的で、国際会議等海外渡航経費補助、研究会等開催経費補助、農薬科学研究奨励金の各種補助金制度を設けています。40周年記念事業の一環として、平成27年度から平成29年度の海外渡航費補助および平成27年度募集分の農薬科学研究奨励金については、予算を増額して補助しています。ご希望の方は、ホームページの会員のページをご参照いただき、ご応募下さい。

## 平成29・30年度日本農薬学会役員選挙について

平成28年10月に平成29・30年度日本農薬学会役員選挙が実施される予定です。前回の役員選挙から、インターネットを利用して投票するWeb投票システムが導入されています。会員の皆様には大変便利なWeb投票システムを是非ご利用くださいますようお願いいたします。ただし、インターネット環境が整っていない会員の皆様には投票用紙の郵送による投票もできます。郵送での投票をご希望の方には、事前にその旨を申請していただくこととなりますが、その詳細は次号ニュースレター(2016年第3号)にてあらためてお知らせします。この申請がない場合は、自動的にWebでの投票となりますので、忘れずに郵送による投票のご申請をお願いします。

Web投票システムと郵送を使用する会員の内訳は下記の通りとなります。

(1) Web投票システムによる投票

- ・インターネット環境が整っていて会員情報サービスにログイン可能な会員

注1) ログインには会員番号とパスワードが必要です。会員番号は学会からの郵便物とお知らせメールの宛名部分に記載されています。パスワードが不明の方は、学会HPのトップページ内の〈会員のページ〉より〈会員情報サービス(外部サイト)〉へお進み頂き「パスワードお忘れのかたはこちらへ」から再発行して下さい。

注2) メールアドレス未登録の方は、できる限り登録するようお願いいたします。(メールアドレスを登録していなくてもWeb投票を受け付けますが、この場合、投票完了確認のための通知メールが受信できません)

(2) 郵送による投票(この場合、郵送投票の事前申請が必要です。)

- ・インターネット環境が整っていない会員
- ・Web投票システムが利用できるが郵送での投票を希望する会員

なお、本会規定により、平成28年5月31日の時点で平成28年度の会費を納入していない方には選挙権・被選挙権が認められませんので、会費を支払われていない会員の皆様には会費納入を5月末日までに済ませて下さいますようお願いいたします。

日本農薬学会選挙管理委員会

夏近い平野里山は、青鏡の早苗田、金色の野の麦秋、或いはそれらが入り交じる不規則なデザイン。地域差はあるが、豊穡と夏への勢いを感じさせる美しさである。この度の地震で被害を受けた地域も米と麦の産地である。農業を苦しめる天変地異のうちでも地異に対して本当に無力であり、せめて農業分野の復興を加速する技術革新が進むことを願う。あらためて地震で被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて今号では、昨年度の報告に加えて、新年度の小集会の予定と役員選挙の案内が掲載されている。今後の計画にご活用されたい。

また、学会では5月から新しいホームページ「農業について知ろう」を開設し、小学生を含めた一般の方々に農業を良く理解してもらうこと目指している。会員の皆様には周囲の方々にご紹介下さるようご協力をお願いしたい。

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp